

MOT/Phone

Android版

User's Guide



技術向けマニュアル(Ver10.3.1)

第7.5版

2024/12/12

株式会社バルテック

通話履歴に関する設定

- ・ 内線通話の履歴のみ表示する [3](#)

発信に関する設定

- ・ 直前に発信した番号をダイヤル画面に表示する [5](#)
- ・ 発信時に、携帯からの発信を選択可能にする [6](#)
- ・ 番号の先頭に特定の番号を付けて発信する(プレフィックス) [7](#)
- ・ 番号の先頭に特定の番号を付けて携帯から発信する(プレフィックス) [8](#)
- ・ MOT/Phone以外の通話アプリから発信する [9](#)
- ・ よく発信する番号や発信動作をワンタッチキーに登録する [10](#)

通話に関する設定

- ・ 通話が切断された場合、通話終了音を鳴らす [11](#)

共通電話帳に関する設定

- ・ MOT/PBX側で電話帳の同期実行時のメッセージを非表示にする [12](#)

スマートフォン連絡先に関する設定

- ・ MOT/Phone以外の電話帳アプリで連絡先を編集する [13](#)
- ・ 連絡先の情報を更新する [14](#)
- ・ 連絡先グループを作成する [15](#)
- ・ 連絡先グループを編集・削除する [16](#)
- ・ 連絡先をエクスポートする(OS10以降) [18](#)
- ・ 連絡先をOutlookにインポートする [19](#)
- ・ 連絡先をGmailにインポートする [20](#)
- ・ 連絡先をOutlookに1件ずつインポートする [21](#)
- ・ Googleアカウントと連絡先を同期する [22](#)

その他の設定

「電話設定」

- 設定＞[電話設定]の項目説明.....[25](#)
- 設定＞[電話設定]＞「1. 初期設定(アカウント登録)」の項目説明.....[26](#)
- 複数のアカウントを利用する(セカンダリアカウントの設定).....[28](#)
- 設定＞[電話設定]＞「9. その他の設定」の項目説明.....[31](#)

その他の設定

- 通話品質が低下した場合、警告音またはメッセージで通知するには.....[33](#)
- Wi-Fi圏外時に、バイブレーションまたはメッセージで通知する.....[34](#)
- 番号登録に失敗した理由を表示する.....[35](#)
- 発信が失敗した理由を表示する.....[36](#)
- エコーキャンセラを無効にする.....[37](#)
- 音声コーデックの詳細.....[38](#)
- 発信アプリの設定を初期値に戻す.....[39](#)
- エクスポート機能を利用する.....[40](#)
- インポート機能を利用する.....[41](#)
- 保存した設定ファイルを削除する.....[42](#)
- MOT/Phoneで通話中に着信があった際のバイブ動作を無効にする.....[43](#)
- MOT/Phoneアプリのバージョン確認、アンインストールを行う.....[45](#)

別途サービスの機能

- スマートロック解錠機能.....[47](#)
- エントランス解錠機能.....[52](#)

<仕様・注意事項>

- 仕様.....[57](#)
- 注意事項.....[58](#)

内線通話の履歴のみ表示する

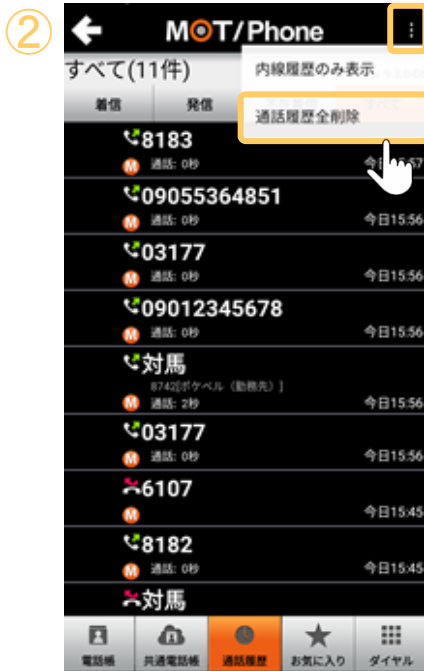
設定により、内線通話の履歴のみを表示することができます。
内線通話であるかどうかは、通話相手の番号の桁数で識別します。
通話履歴の画面に、内線通話の履歴のみを表示する方法は、以下2通りございます。

内線通話の履歴表示

■方法1.

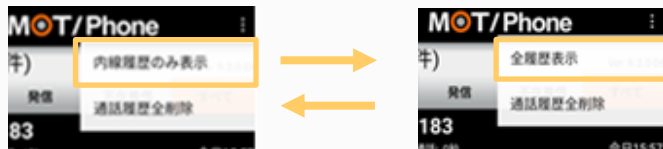


①「通話履歴」をタップし、通話履歴画面を表示します。



②画面右上のメニューボタン  をタップして、「内線履歴のみ表示」を選択すると、「内線通話の履歴のみ」を表示します。

※「内線履歴のみ表示」と「通話履歴全削除」メニューの表示は、タップするたびに交互に切り替わります。



「全履歴削除」を選択した場合、すべての履歴が表示されます。

内線通話の履歴のみ表示する

■方法2.

設定 > 電話帳・通話履歴の設定 > 通話履歴の設定 > 内線番号桁数



①



①「内線履歴のみ表示」にチェックをつけることで、通話履歴画面に、「内線通話の履歴のみ」を表示します。

※「内線番号桁数」項目

「内線履歴のみ表示」する設定にした場合、本項目で設定した桁数以下の数値を「内線番号」として認識し、通話履歴画面に表示します。

発信に関する設定

直前に発信した番号をダイヤル画面に表示する

前回発信した番号を番号入力欄に残す事が出来ます。

設定 > 電話設定 > 3. 発信動作設定 > 発信後番号消去

①



①「発信後番号消去」のチェックを外すと、番号の消去が無効となり、入力した番号が番号入力欄に毎回残ります。

■チェックなしの場合

通話終了後、
前回発信した番号が残ります。



■チェックありの場合(初期値)

通話終了後、前回発信した
番号が消去されます。



※次に発信を行う場合は
✕ ボタンで番号を消去し、
新たな番号を入力します。

発信に関する設定

発信時に、携帯からの発信を選択可能にする

MOT/Phoneダイヤルパッドから発信する時、携帯発信かMOT/Phone発信かの選択を行う設定です。

設定 > 電話設定 > 3. 発信動作設定 > 携帯発信設定

①



①「携帯発信設定」にチェックを入れると、発信時に、携帯番号を発信する選択ダイアログを表示することができます。

<発信画面>

「携帯発信設定」にチェックを入れると、MOT/Phoneから発信する際に、「MOT/Phone発信」と「携帯電話発信」どちらで発信するか選択ダイアログが表示されます。



発信



①
②



選択ダイアログを表示

- ①MOT/Phoneで発信します。
- ②携帯番号で発信します。

発信に関する設定

番号の先頭に特定の番号を付けて発信する(プレフィックス)

MOT/Phone発信時にダイヤルした番号の先頭に指定したプレフィックスを付与して発信する事が出来ます。



> 電話設定 > 3. 発信動作設定 > ダイヤルプレフィックスの設定

携帯電話のプレフィックス発信を利用して、FUSIONなどキャリアが提供する携帯電話回線サービスを利用する事も可能です。

①



①「ダイヤルプレフィックスの設定」をタップし、以下の項目で設定します。

①プレフィックスを設定

「プレフィックス」を選択し、先頭に付与する番号を入力します。

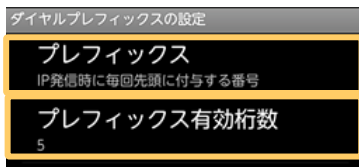
②プレフィックス有効桁数を設定

「プレフィックス有効桁数」を選択し、①「プレフィックス」で設定した番号を付与するのが、ダイヤルした番号が何桁以上の場合かを入力します。

ただし、通話履歴にはプレフィックスが付与されていない状態で残ります。(リダイヤル、履歴発信を考慮するために付与していません)

①

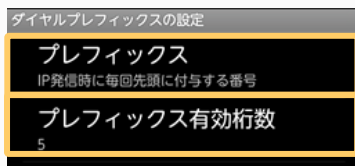
②



MOT/Phone発信時のプレフィックスは、設定した条件に合致する、全てのダイヤルに対して自動的に付与されます。

①

②



IP番号
MOT/Phone発信
0311112222をダイヤル

0 : 入力した値
+
0311112222
: 桁数確認
00311112222

発信に関する 設定

番号の先頭に特定の番号を付けて 携帯から発信する(プレフィックス)

携帯発信時にダイヤルした番号の先頭に指定したプレフィックスを付与して発信する事が出来ます。

設定 > 電話設定 > 3. 発信動作設定 > 携帯発信プレフィックス

携帯電話のプレフィックス発信を利用して、FUSIONなどキャリアが提供する携帯電話回線サービスを利用する事も可能です。



①「携帯発信プレフィックス」をタップし、携帯発信時に付与するプレフィックスを入力します。

MOT/Phone発信時に、プレフィックス付きで携帯発信するかどうかを選択するダイアログが表示されます。

※「携帯発信設定」

「携帯発信設定」にチェックがある場合は、プレフィックス無しの「携帯電話発信」と、プレフィックス付きの「携帯電話発信」から選択できます。

<携帯発信プレフィックス>



※「携帯発信設定」にチェック有の場合



プレフィックス無しの
「携帯電話発信」

発信に関する設定

MOT/Phone以外の通話アプリから発信する

他社アプリ「PHONE APPLI PEOPLE」と連携する場合に使用します。

設定 > 電話帳・通話履歴の設定 > 他のアプリで発信

①



①「他のアプリで発信」にチェックを入れると、MOT/Phoneの履歴・連絡先・共通電話帳・お気に入りからの発信時に、どのアプリで発信するかアプリを選択するダイアログを表示します。

<履歴や電話帳からの発信時>



発信



選択ダイアログを表示

発信するアプリの選択が可能です。

発信に関する
設定よく発信する番号や発信動作を
ワンタッチキーに登録する

よくダイヤルする番号や、留守番電話の設定などのサーバ側の特番機能を、ワンタッチボタンに登録して利用出来ます。

機能名称	操作名称	自動ダイヤルする番号	備考
留守番電話設定(着歴無し) ※注意 設定すると電話機側の着信履歴に残りません。着信履歴に残したい場合は不在転送をご利用ください。	留守番電話開始	*2191 +(備考記載)	入力した番号の先頭が*の場合 *2191+自内線番号+(入力番号) 入力した番号の先頭が数字の場合 *2191+(入力した番号) ※未入力時は自番号で設定
	留守番電話解除	*21+入力した番号	※未入力時は自番号で設定
	留守番電話再生	92+自内線番号	
留守番電話設定(着歴有り)	下記不在転送を利用	*23 + 91を入力 +(上記備考)	上記留守番電話設定では着信履歴に残らないため、履歴に残したい場合は、不応答転送先を留守番電話(91)を設定します。
転送設定(自分用) ※他番号の転送は手動入力してください。	不在転送(設定/解除)	*21 + 入力番号	※解除は *21 ※転送先番号
	不応答転送(設定/解除)	*23 + 入力番号	※解除は *23 ※転送先番号
	話中転送(設定/解除)	*22 + 入力番号	※解除は *22 ※転送先番号
	圏外転送(設定/解除)	*24 + 入力番号	※解除は *24 ※転送先番号
代理応答	全て	*3	
	外線	*32	
	内線	*31	
着信拒否設定			全ての着信を拒否
外線着信拒否設定			外線着信を拒否
手動入力		入力番号	※表示名称入力可能

自動ダイヤルする特番は、MOT/PBXおよびMOT/TEL側の仕様をご参照ください。
各機能のプレフィックスを変更した場合は、手動入力をご利用ください。

発信に関する
設定

通話が切断された場合、通話終了音を鳴らす

通話を相手から切断した時に、通話終了音を3秒間鳴らしてから通話画面を閉じるか、音を鳴らさずに即座に画面を閉じるかを選択できます。



> 電話設定 > 9. その他の設定 > 通話終了音を鳴らす

①



- ①「通話終了音を鳴らす」にチェックを入れると、通話終了時に通話終了音を3秒間鳴らしてから通話画面を閉じます。

チェックを外すと、通話終了時に即座に通話画面を閉じます。
(初期値:チェックあり)

共通電話帳に関する設定

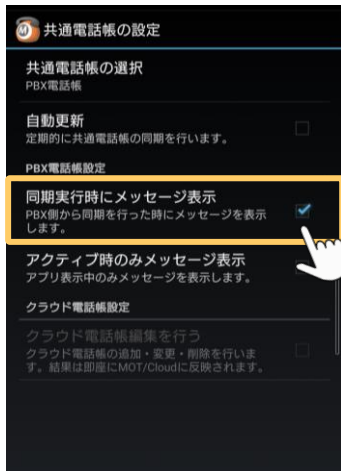
MOT/PBX側で電話帳の同期実行時のメッセージを非表示にする

PBX側から、電話帳の同期を実行した際のメッセージを表示/非表示で選択することができます。

⚙️ > 電話帳・通話履歴の設定 > 共通電話帳の設定 > 同期実行時にメッセージ表示

PBX電話帳を使用している場合、MOT/PBXの設定画面から電話帳の同期を行うことが出来ます。

①

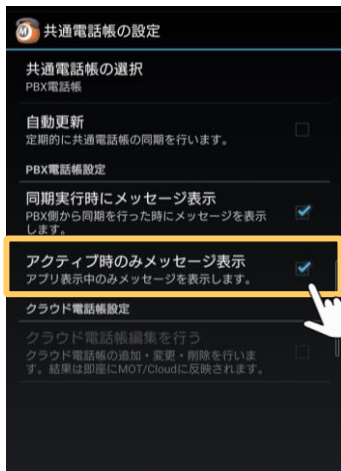


①「同期実行時にメッセージ表示」にチェックをつけると、PBX側からの同期が完了すると、画面上に、メッセージを表示します。

[MOT/Phone] PBX電話帳との同期が完了しました。

メッセージを非表示にする場合は、チェックを外してください。

②



②「アクティブ時のみメッセージ表示」にもチェックをつけると、MOT/Phoneの画面を表示している時のみ、メッセージを表示します。

スマートフォンの連絡先に関する設定

MOT/Phone以外の電話帳アプリで連絡先を編集する

別の電話帳アプリを利用して連絡先の追加・編集を行うことができます。



＞ 電話帳・通話履歴の設定 ＞ 他のアプリで連絡先を編集

①



①「他のアプリで連絡先を編集」にチェックを入れると、電話帳(Android端末の連絡先)の追加・編集時に、別のアプリを選択するダイアログが表示します。

＜電話帳の編集画面＞



編集画面を表示



選択ダイアログを表示

発信するアプリの選択が可能です。

スマートフォンの連絡先に関する設定

連絡先の情報を更新する

他の電話帳アプリで連絡先を編集した場合などに、表示情報と実際のデータと差異があった場合に、端末の最新情報に同期させます。

電話帳 > 電話帳の右上メニュー ⋮ > 一覧更新

①



①電話帳画面で画面右上のメニュー ⋮ をタップし、メニューから [一括更新] を選択します。

②



②同期処理を実行します。

連絡先グループを作成する

連絡先一覧画面で本体のメニューボタンを押し、[グループ作成]メニューを選択すると、新しいグループの登録ダイアログが表示されます。

電話帳 > 電話帳の右上メニュー > グループ作成



①電話帳画面で画面右上のメニュー  をタップし、メニューから **グループ作成** を選択します。



②「グループ作成」画面で、連絡先グループを作成します。

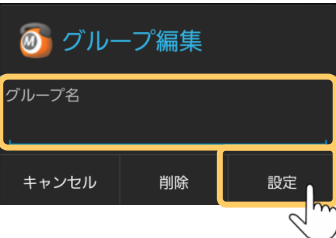
- ①グループを追加するアカウントを選択します。
- ②グループ名を入力します。

入力後、[設定]をタップすると、グループが追加されます。

連絡先グループ名を編集・削除する

グループ選択ダイアログ内でグループを長押しすると、グループ編集ダイアログが表示されます。グループ名の変更や削除を行うことができます。

スマートフォン連絡先のグループ名を編集する

- ①  ①[電話帳]をタップし、「電話帳」の画面を表示します。
- ②  ②「電話帳」画面で、グループアイコン  をタップし、連絡先グループの一覧が表示されます。
- ③  ③グループ名を長押しし、編集ダイアログを表示します。
※以下のグループは編集できません。
 - ・[すべて]
 - ・[グループなし]
 - ・[お気に入り]
 - ・Googleアカウントの[Contacts]
 - ・Googleアカウントの[Family]
 - ・Googleアカウントの[Friends]
 - ・Googleアカウントの[Coworker]
- ④  ④グループ名を編集後、[設定] をタップします。

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先に関する設定

連絡先グループ名を編集・削除する

スマートフォン連絡先のグループ名を削除する



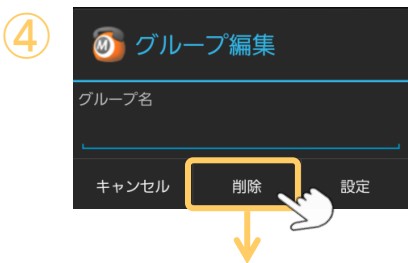
①[電話帳]をタップし、「電話帳」の画面を表示します。



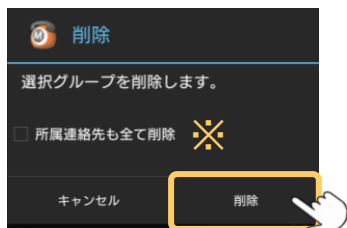
②「電話帳」画面で、グループアイコン  をタップし、連絡先グループの一覧が表示されます。



③グループ名を長押しし、編集ダイアログを表示します。



④[削除] をタップし、表示されるメッセージで、[削除]を選択すると、削除処理を行います。



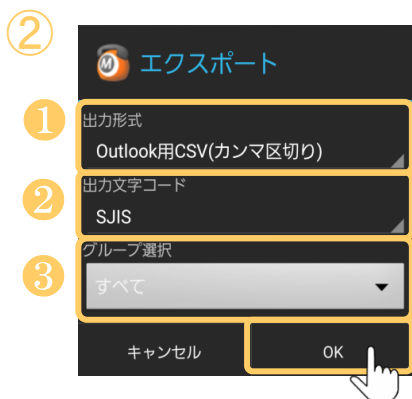
※[所属連絡先も全て削除]にチェックを入れて削除を行った場合、所属連絡先も削除します。ただし、選択グループ以外のグループにも所属していた場合は削除せずに残します。

スマートフォンの連絡先に関する設定

連絡先をエクスポートする(OS10以降)

連絡先をVCard形式またはCSV形式のファイルとして端末内に保存することができます。端末に内蔵ストレージもSDカードもない場合は保存できません。

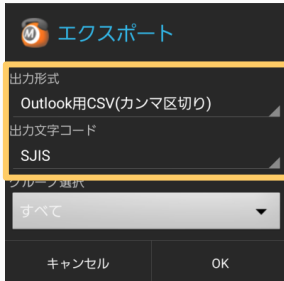
電話帳 > 電話帳の右上メニュー > エクスポート



スマートフォンの連絡先に関する設定

連絡先をOutlookにインポートする

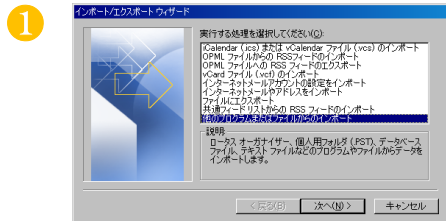
「Outlook用CSV(カンマ区切り)」でエクスポートした連絡先をOutlookにインポートします。連絡先を一度にインポートすることができます。



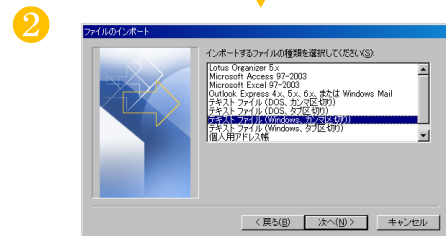
電話帳の右上メニュー > **[エクスポート]**で、「Outlook用CSV(カンマ区切り)」、「SJIS」として連絡先情報を出力したファイルを、インポートします。

Outlookにインポートする

Outlookのメニューから[ファイル]>[インポートとエクスポート]を選択し、以下の手順でインポートを行います。USB接続するなどして、CSVファイルをPCから読み取れるようにしてください。

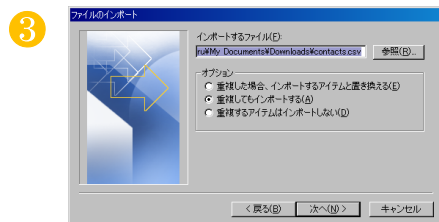


「他のプログラムまたはファイルからのインポート」を選択

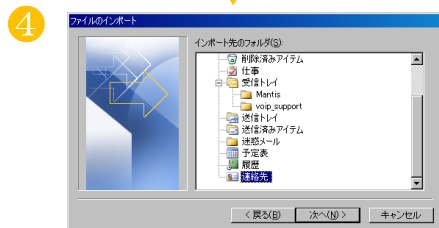


「テキストファイル(Windows、カンマ区切り)」を選択

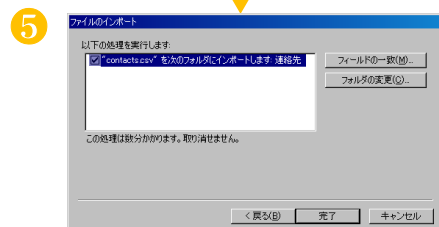
Outlook2007



オプションを選択



「連絡先」を選択



「完了」を選択

スマートフォンの連絡先に関する設定

連絡先をGmailにインポートする

「Gmail用CSV(カンマ区切り)」や「Vcard形式」でエクスポートした連絡先をGmailにインポートします。連絡先を一度にインポートすることができます。



電話帳の右上メニュー > [エクスポート]で、「Gmail用CSV(カンマ区切り)」または「VCard形式」として連絡先情報を出力したファイルを、インポートします。

■ Gmailにインポートする

ブラウザでGmailにログインし、左上のプルダウンメニューで [連絡先] を選択します。
※Gmailの使い方については、Googleのヘルプページを参照してください。
USB接続するなどして、CSVファイルをPCから読み取れるようにしてください。



① 上部メニューの[その他]> [インポート]を選択



② [ファイルを選択]でエクスポートしたファイルを選択

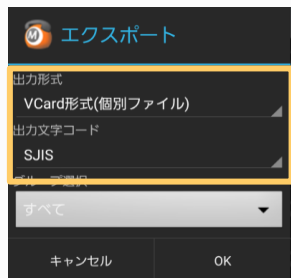
③ [インポート]を押す

図:Gmail 2013.1.15現在

スマートフォンの連絡先に関する設定

連絡先をOutlookに1件ずつインポートする

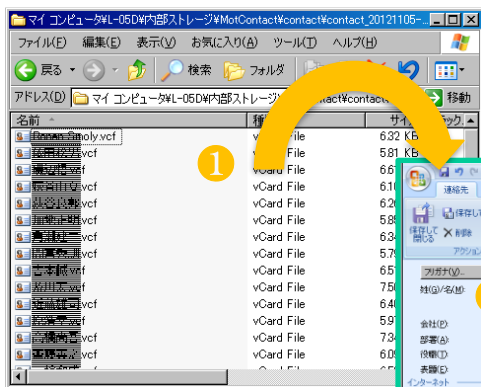
「VCard形式(個別ファイル)」でエクスポートした連絡先を一件ずつ確認しながらOutlookにインポートします(大量のインポートには適しません)。



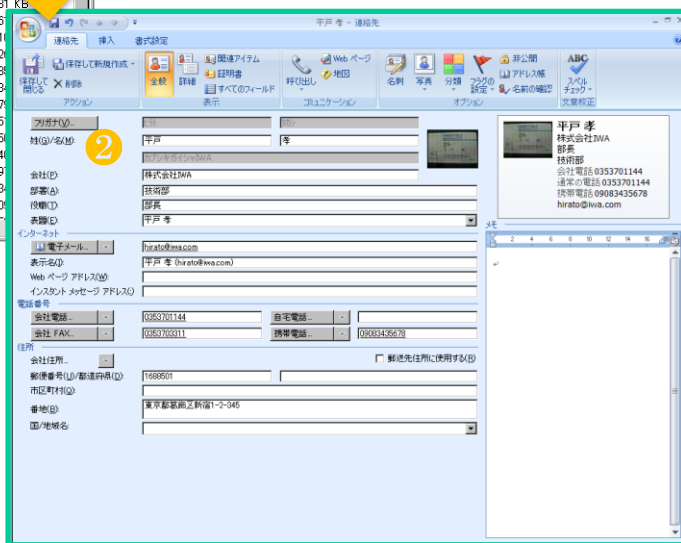
電話帳の右上メニュー > [エクスポート]で、「VCard形式(個別ファイル)」または「SJIS」として連絡先情報を出力したファイルを、インポートします。

■ Outlookに1件ずつインポートする

VCardファイルをOutlookにドラッグ&ドロップします。1件ずつ内容の確認・編集を行い、保存します。USB接続するなどして、CSVファイルをPCから読み取れるようにしてください。



①インポートするVCardファイルを選択し、Outlookの連絡先画面上にドロップ



②[保存して閉じる]を選択

: Outlook2007

スマートフォンの連絡先に関する設定

Googleアカウントと連絡先を同期する

端末の連絡先を同期させるGoogleアカウントを選択し、同期を実行します。

設定 > 電話帳・通話履歴の設定 > Googleアカウントの同期設定 > アカウントと同期の設定

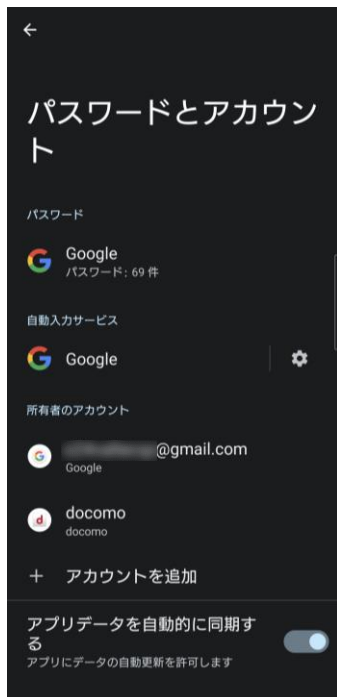
端末の連絡先を同期させるGoogleアカウントを設定します。

①



①「アカウントと同期の設定」をタップすると、端末の設定画面を表示します。

②



②同期させるGoogleアカウントを選択します。

※端末設定メニューの名称・画面は端末によって異なります。

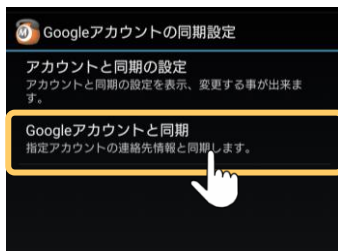
▶次ページへ続く

Googleアカウントと連絡先を同期する

設定 > 電話帳・通話履歴の設定 > Googleアカウントの同期設定 > Googleアカウントと同期

次に、設定したGoogleアカウントの連絡先と手動同期します。

①



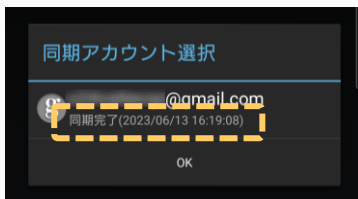
①「Googleアカウントと同期」をタップすると、同期アカウント選択の画面を表示します。

②



②手動同期するGoogleアカウントをダイアログから選択後、[OK]をタップします。

同期が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



▶ 次ページへ続く

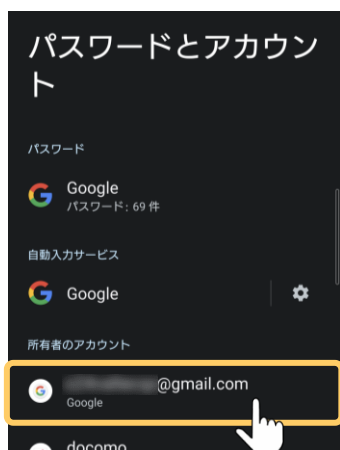
Googleアカウントと連絡先を同期する

設定したGoogleアカウントの連絡先と手動同期する際の注意事項です。

注意事項

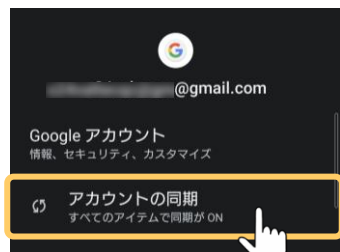
Googleアカウントの自動同期機能には、同期が完了しない・同期中に連絡先を編集すると連絡先が消えてしまうという問題があります。
そのため自動同期機能は通常オフにして、必要に応じて手動同期することをお勧めします。

①



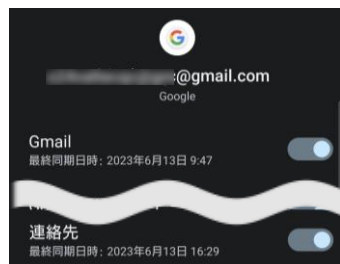
①設定＞電話帳・通話履歴の設定＞Googleアカウントの同期設定＞「アカウントと同期の設定」で、同期したGoogleアカウントをタップします。

②



②「電話帳を同期」のチェックを外します（オフにします）。

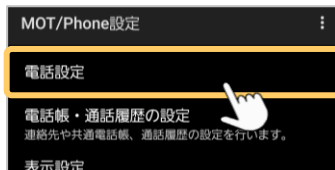
※端末設定メニューの名称・画面は端末によって異なります。



自動同期をオフ

設定 > [電話設定] の項目説明

「電話設定」の項目説明です。
基本は初期値のままご利用いただきます。

 > 電話設定
**二次元コード読取**

MOT/HGに表示されるカウント設定用の二次元コードを読み取ることで、アカウント登録が行える機能です。

アカウント設定**1. 初期設定(アカウント登録)**

必ず設定が必要な項目です。
内線番号、接続するサーバの設定を行います。

2. セカンダリアカウント登録

複数のMOT/PBXまたはMOT/TELを利用する場合に設定を行います。初期設定で登録したアカウントと切り替えて利用する事ができます。

3. 発信動作設定

電話をかける時の動作を設定します。
プレフィックスの付与、発番号の選択などを設定します。

4. 着信動作設定

電話を受ける時の動作を設定します。
IP通話中の携帯着信、番号表示、自動応答などを設定します。
※AndroidOS 8.0、8.1ではIP通話中の一般電話着信を自動拒否できないため、「許可する」が固定で設定されています。

5. 音量/着信音設定

送受話音量の調整や、着信鳴動音を選択する設定を行います。

6. 音声コーデック設定

利用する音声コーデックを設定します。

7. 保留動作設定

パーク保留など保留操作を行う場合の設定を行います。

8. ワンタッチダイヤル機能設定

テンキー長押しで動作するワンタッチキーを設定します。

9. その他の設定

メインメニューの設定、通話品質に関連する項目などを設定します。

設定＞[電話設定]＞ 「1.初期設定(アカウント登録)」の項目説明

アカウント登録画面の項目説明です。基本は初期値のままご利用いただきます。



＞ 電話設定 ＞ 1.初期設定(アカウント登録)



①STUN利用 (NAT越え)

チェックをつけて有効にします。
(初期値:有効)

②STUNサーバ選択

網側サービス
(初期値:「網側サービス」が選択)

③ SIP NAT環境での利用

「利用しない」を選択してください。
(初期値:「利用しない」が選択)

※端末依存ではなくSIMの種類、wi-fi環境により設定が異なります。

④プロトコル

「UDP」を選択してください。
(初期値:「UDP」が選択)

「ローカルアカウント設定」の項目説明

ローカルアカウント設定画面の項目説明です。基本は初期値のままご利用いただきます。



> 電話設定 > 1.初期設定(アカウント登録) > ローカルアカウント設定

① ローカルアカウント設定

電話番号
311

パスワード

サーバーアドレス
192.168.10.200

ポート番号
5060

① プロトコル(HTTP)
HTTP

ポート番号(HTTP)
18080

② スリープ無効
アカウント利用時のスリープ設定
(電池消費量大) ☐

③ WiFi接続強制利用
チェックした場合、公衆WiFi網での利用
が出来なくなります。 ☐

①プロトコル・ポート番号(HTTP)

PBX電話帳へのアクセスをHTTPもしくはHTTPSで行います。プロトコルを変更することで自動的にポート番号(HTTP)の値も変更されます。

②スリープ無効の設定

ローカルアカウント利用時MOT/Phoneダイヤルパッドを最前面表示すると端末がスリープしなくなる設定です。(電池消費大)

③Wi-Fi接続強制利用

Wi-Fi接続が利用可能な環境下の場合、強制的にローカルアカウントを利用します。

※STUN利用かつ、ルータ経由でMOT/PBXのWAN側アドレスにアクセスできる場合に、グローバルアカウントが優先的に動作するため、これを社内無線LAN利用時には行わないための設定となります。

本設定を利用すると、公衆Wi-Fi網での利用が出来なくなりますのでご注意ください。

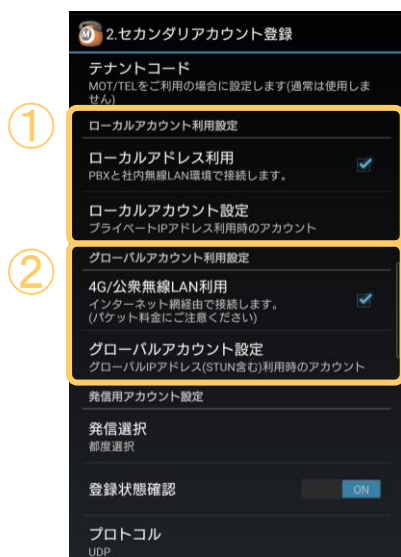
※ポート番号の設定は変更しません。

複数のアカウントを利用する (セカンダリアカウントの設定)

MOT/Phoneアカウントを複数利用する際に設定します。
「冗長化構成」や「複数グループへの所属」が可能です。

設定 > 電話設定 > 2.セカンダリアカウント登録

セカンダリアカウント登録の「ローカルアカウント設定」、もしくは「グローバルアカウント設定」を選択します。



①ローカルアカウントの設定

- ・「ローカルアドレス利用」にチェックを入れます。
- ・タップ可能になった「ローカルアカウント設定」をタップします。

②グローバルアカウントの設定

- ・「4G/公衆無線LAN利用」にチェックを入れます。
- ・タップ可能になった「グローバルアカウント設定」をタップします。

- ①ローカルアカウント、または
②グローバルアカウントの
アカウント情報を入力します。



- ③利用する内線番号、パスワードと接続するPBXの
アドレスを入力します。

▶次ページへ続く

複数のアカウントを利用する (セカンダリアカウントの設定)

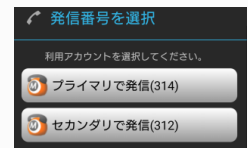


④ 発信用アカウント設定

① 発信選択

発信時に、「プライマリ」「セカンダリ」どちらのアカウントから発信するか選択します。
発信の都度、選択する場合は、「都度選択」を選択します。初期値は「都度選択」です。

「都度選択」を選択している場合、
発信の都度、選択画面を表示します。



発信の都度、発番号を選択する
「発番号選択の利用」も併用する場合、
上段で、「プライマリ」「セカンダリ」の
選択、
下段で、発番号を選択する画面を
表示します。



② 登録状態確認

発信時に、①「発信選択」で選択しているアカウントがサーバ登録状態が接続失敗の場合、
「ON」にしていると、自動でもう1つのアカウントの状態を確認し、接続成功の場合はそこから発信します。
「OFF」の場合は、発信不可のメッセージが表示し、発信が行えません。

※①「発信選択」で「都度選択」を選択している場合は、
本項目が「ON」「OFF」どちらでも動作は同じです。
発信時に、2アカウントともサーバ登録が成功している場合は、通常通り、選択画面を表示し、1アカウントのみサーバ登録が成功している場合は、成功しているアカウントから発信します。

▶次ページへ続く

複数のアカウントを利用する (セカンダリアカウントの設定)

<セカンダリアカウントを利用する際の表示>



①初期設定(アカウント登録)で設定したアカウントのサーバ登録状態と内線番号を表示します。

②セカンダリアカウント登録で設定したアカウントのサーバ登録状態と内線番号を表示します。

①、②ともに、ローカルアカウントとグローバルアカウントを設定している場合は、サーバ登録状態が有効になっているほうの内線番号を表示します。

※①、②両方のアカウントが設定されている場合は、①サーバ登録状態を表示(サーバ接続成功の場合)、①がサーバ接続失敗の場合は、②のサーバ登録状態を表示します。

注意事項

- パークランプの制御は優先的に動作しているアカウントのみで利用可能です。
- 着信履歴にどちらのアカウントで着信したかの表示はされませんのでご注意ください。

設定 > [電話設定] > 「9.その他の設定」の項目説明

「その他の設定」画面の項目説明です。基本は初期値のままご利用いただきます。



> 電話設定 > 9.その他の設定

①	通話品質警告音 通話品質が低下した時に警告音を鳴らします。	☐
②	通話品質表示 パケットロス率を画面に表示します。	☐
③	Wi-Fi圏外時にバイブ通知 Wi-Fi接続が切断され通話不能になったときにバイブレーションで通知します。	☐
	Register周期(秒) 1200	
④	Options送信周期(秒) 140	
⑤	ジッタバッファ(最小値) 0 msec	
⑥	通話終了音を鳴らす 通話終了時に終了音を流してから画面を閉じます。	☐
⑦	通話中メニュー非表示 オレンジ・黒テーマの通話画面でメニューを表示しません。	☒
⑧	通話中メニュー無効化 青テーマの通話画面でメニューボタンを無効にします。	☐
⑨	通話中画面ロック 通話中に端末を耳にあてたら画面をロックします。	☒

①通話品質警告音

②通話品質表示

※上記①、②は「[通話品質が低下した場合、警告音またはメッセージで通知する](#)」ページをご参照ください。

③Wi-Fi圏外時にバイブ通知

※「[Wi-Fi圏外時に、バイブレーションまたはメッセージで通知する](#)」ページをご参照ください。

④Options送信周期(秒)

初期値「140」を入力して有効にします。

⑤ジッタバッファ(最小値)

初期値「0 msec」を選択します。

⑥通話終了音を鳴らす

※「[通話が切断された場合、通話終了音を鳴らす](#)」ページをご参照ください。

⑦通話中メニュー非表示

チェックを付けてください。 ※初期値はチェックあり

⑧通話中メニュー無効化

チェックを外してください。 ※初期値はチェックあり

⑨通話中画面ロック

チェックを付けてください。 ※初期値はチェックあり

▶次ページへ続く

設定 > [電話設定] > 「9.その他の設定」の項目説明

通話動作以外の設定項目の変更を行います。



- ⑩ **マイクミュート機能を使用**
初期値のままチェックありで利用します。
- ⑪ **エコーキャンセラ利用**
※「[エコーキャンセラを無効にする](#)」ページをご参照ください。
- ⑫ **通話切断後ホーム表示**
発信した通話終了後にホーム画面へ戻る場合に設定します。
- ⑬ **番号登録失敗理由を表示**
※「[番号登録が失敗した理由を表示する](#)」ページをご参照ください。
- ⑭ **発信失敗理由を表示**
※「[発信が失敗した理由を表示する](#)」ページをご参照ください。
- ⑮ **証明書更新**
TLSプロトコルで通話を行う場合や、HTTPSプロトコルでPBX電話帳やFAX送付状を取得する場合に、PBXと安全な通信を行うために必要となるSSL/TLSサーバ証明書の更新を行います。
- ⑯ **デバッグ用設定**
送話マイク、送話バッファ、受話バッファのパラメータの強制変更やデバッグログのファイル保存設定を行います。

通話品質が低下した場合、 警告音またはメッセージで通知する

通話品質が低下した時に警告音、もしくは画面上の表示でお知らせします。

設定 > 電話設定 > 9.その他の設定 > 通話品質警告音・通話品質表示



①通話品質警告音

チェックをつけて有効にすると、通話品質が低下した時に警告音を鳴らします。

警告音は、パケットロス率が6秒間連続で13%以上の場合に鳴り出し、パケットロス率が6秒間連続で13%以下の状態が継続すると鳴りやみます。

※警告音の音量は本体のメディア音量で調整できます。

②パケットロス表示

チェックをつけて有効にすると、パケットロス率を通話画面に表示します。表示は2秒周期で更新します。

パケットロス率が100%(無音)の状態が30秒間続いた場合、通話は自動的に切断されます。

<通話品質表示>

①、②のどちらかを有効にすることで、通話品質が低下した場合に通話画面に警告メッセージを表示します。



その他の設定

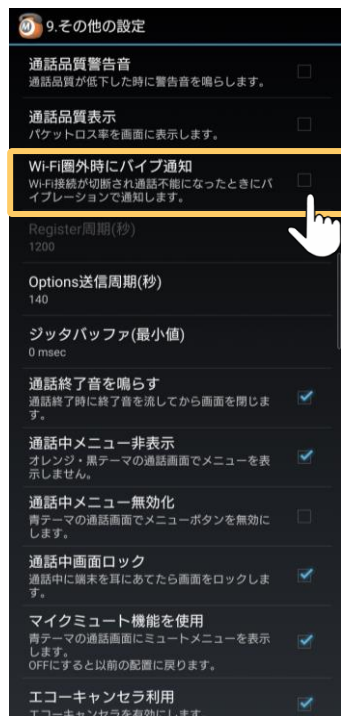
Wi-Fi圏外時に、バイブレーションまたはメッセージで通知する

電話機能をWi-Fiで利用している時に、Wi-Fi圏外になり通話ができなくなったことをバイブレーションおよび画面上の表示でお知らせします。



＞ 電話設定 ＞ 9.その他の設定 ＞ Wi-Fi圏外時にバイブ通知

①

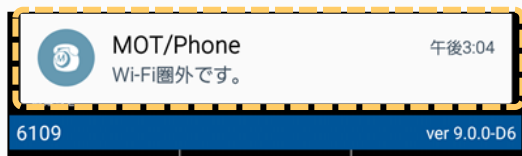


①「Wi-Fi圏外時にバイブ通知」にチェックをつけて有効ににすると、Wi-Fi圏外となり着信が出来なくなったときに、メッセージを表示し、バイブレーションで通知します。

(初期値:チェックなし・無効)

<メッセージを表示>

Wi-Fi圏外となり着信が出来なくなった際、以下のようなメッセージを表示します。



注意事項

- 本体設定でバイブ動作が無効に設定されている場合は、メッセージ表示のみとなります。
- 発信専用で利用している場合は通知されません。

その他の設定

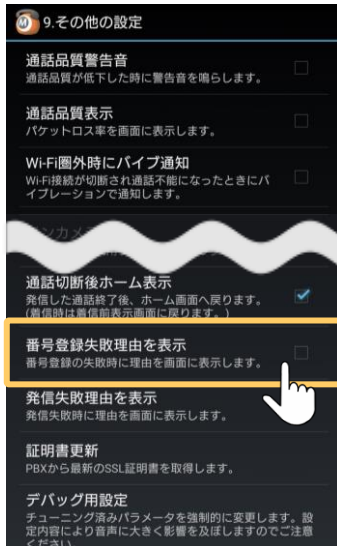
番号登録に失敗した理由を表示する

MOT/PBX、MOT/TELで利用する内線番号の登録が失敗した時に、失敗した理由を画面に表示させることができます。



> 電話設定 > 9.その他の設定 > 番号登録失敗理由を表示

①



- ①「番号登録失敗理由を表示」にチェックをつけて有効にすると、MOT/PBX、MOT/TELに対する番号登録が失敗した時にその理由を表示します。

<メッセージを表示>

番号登録失敗理由を表示します。



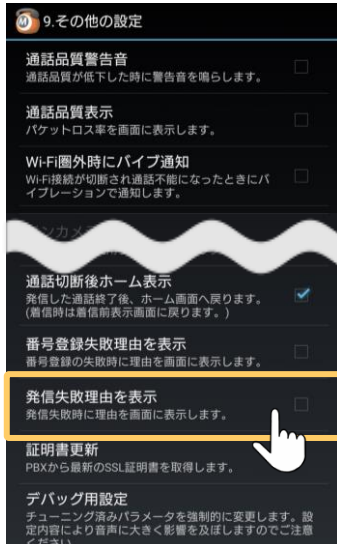
その他の設定

発信が失敗した理由を表示する

発信が失敗した時に、失敗した理由を画面に表示させることができます。

設定 > 電話設定 > 9.その他の設定 > 発信失敗理由を表示

①



①「発信失敗理由を表示」にチェックをつけて有効にすると、発信が失敗した時にその理由を表示します。

<メッセージを表示>

番号登録失敗理由を表示します。



エコーキャンセラを無効にする

MOT/Phone 音声に関する設定変更が可能です。
設定ではエコーキャンセラの有効・無効を選択できます。



＞ 電話設定 ＞ 9.その他の設定 ＞ エコーキャンセラ利用

①



①「エコーキャンセラ利用」

スマートフォン側で発生するエコー(相手側に反響するエコー:近端エコー)を緩和する事が可能です。

エコーキャンセラを有効にすると装置のCPU利用率があがりますので、無効状態でもエコーが発生しない場合には、有効にする必要はございません。
(初期値:チェックあり・有効)

注意事項

エコーキャンセラは、受話器から出力された音がマイクに入力された場合にその音を消去する機能のため、背景雑音が大きい場所の場合は、出力と入力の音声は同一ではないと判断され、エコーが消し切れずに通話相手に送信される場合がありますのでご注意ください。

音声コーデックの詳細

通話時に利用する音声コーデックを設定します。

設定 > 電話設定 > 6. 音声コーデック設定

①



①「音声コーデック設定」

■推奨コーデック: OPUS

MOT/PBX M-V3 のV5.16.1以降と、MOT/TELをご利用の方は**OPUS**を選択してください。
それ以外をご利用の方はSILKが推奨となります。

①



①コーデックをタップ後、以下を選択します。

1. Wi-Fi接続時利用…Wi-Fiに接続した時だけそのコーデックを利用します。
2. Wi-Fi/4G接続時利用…Wi-Fi/4Gに接続した時だけそのコーデックを利用します。
3. 常に利用…常にそのコーデックを利用します。
4. 利用しない…そのコーデックは利用しません。

②



②コーデックを長押しすると優先度を設定できます。

※端末やOSにより、コーデック優先度の画面が一部隠れて表示されることがございます。
その場合はスクロールをして画面を表示してください。



<OPUS以外のコーデック>

PCMU …社内無線LANを利用する時の推奨コーデックで、SIP電話機等もこのコーデックを使用しています。

SILK …4Gなどモバイルデータ通信を利用する時の推奨コーデックで、AMRNBと比較して音質は良く、PBX側でも回線側での多少のパケットロス補てんができるように対応しております。

発信アプリの設定を初期値に戻す

標準電話アプリの電話帳から発信するアプリを常時選択した場合、以下のメニューで、常時選択を初期化することができます。

標準電話アプリの電話帳から発信する際、発信するアプリを選択し、常時を選ぶと、以降は、電話帳から発信する際は、選択したアプリで即時発信されます。

標準電話アプリの電話帳から発信する際に、
発信アプリを選択して「常時」を選択



以後、標準電話アプリの電話帳から発信すると、選択したアプリで発信されます

■標準電話アプリの電話帳から発信する際の発信アプリの常時選択を解除する場合は、以下のメニューで行ってください。

設定 > バージョン情報 > アプリケーション情報表示 or 標準電話アプリ情報表示

発信アプリに選択されている
アプリに合わせて、メニューを選択



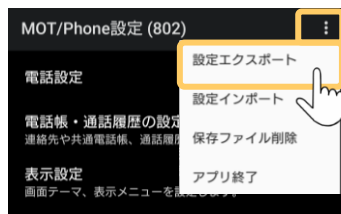
※端末によって初期化のボタン名称は異なります。
※端末によって発信アプリの初期化が未対応の場合がございます。

エクスポート機能を利用する

ファイルのエクスポート、インポート機能により、アプリ設定の引継ぎが行えます。
アプリを再インストールする際などに利用します。

設定 > 電話帳の右上メニュー ⋮ > 設定エクスポート

①



① 設定画面の右上のメニュー ⋮ をタップし、メニューから **設定エクスポート** を選択します。

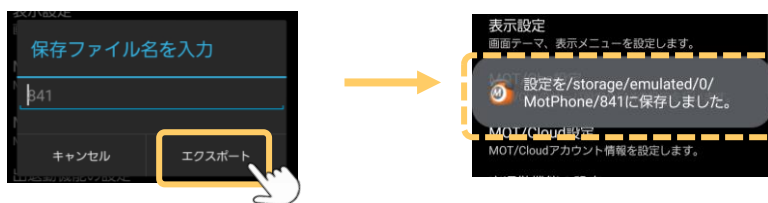
②



② 保存先フォルダを選択して **保存** をタップし、設定ファイルを保存します。
ファイル名は、初期値は“内線番号”が入力されていますが、ファイル名の変更も可能です。

<Android OS9の場合>

[エクスポート] をタップし、端末内の /MotPhone/ フォルダ下に、設定ファイルを保存します。
ファイル名は、初期値は“内線番号”が入力されていますが、ファイル名の変更も可能です。



※インポートについては「[インポート機能を利用する](#)」ページをご参照ください。

保存完了後、以下のようなメッセージを表示します。



インポート機能を利用する

エクスポートしたファイルをインポート(設定の引継ぎ)します。

設定 > 電話帳の右上メニュー ⋮ > 設定インポート

①



① 設定画面の右上のメニュー ⋮ をタップし、メニューから **設定インポート** を選択します。

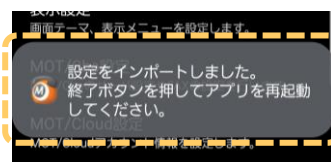
②



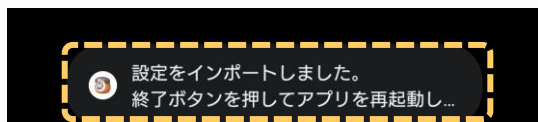
② 「設定エクスポート」にて保存した設定ファイルを選択し、インポートを行います。

<Android OS9の場合>

「設定エクスポート」にて保存した設定ファイルを、端末内の/MotPhone/フォルダ下に保存したファイルの一覧から選択し、インポートを行います。



インポート後、以下のようなメッセージを表示します。



注意事項

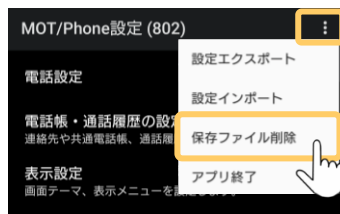
インポート成功後はアプリを再起動してください。

保存した設定ファイルを削除する

設定エクスポートで端末に保存した設定ファイルを削除します。
一般のファイルエクスプローラーでのファイル削除でも、同様のことが行えます。

設定 > 電話帳の右上メニュー ⋮ > 保存ファイル削除

①



① 設定画面の右上のメニュー ⋮ をタップし、メニューから **保存ファイル削除** を選択します。

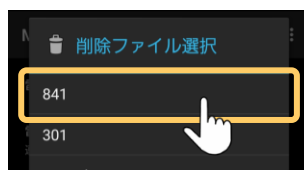
②



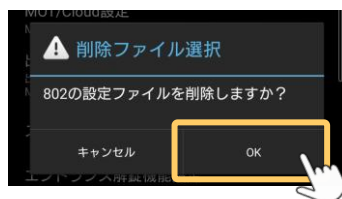
② 「設定エクスポート」にて保存した設定ファイルを選択します。

<Android OS9の場合>

「設定エクスポート」にて保存した設定ファイルを、端末内の/MotPhone/フォルダ下に保存したファイルの一覧から選択します。

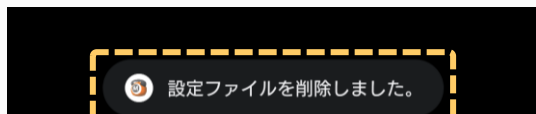


③



③ 「OK」をタップし、「設定ファイルを削除しました」のメッセージが表示されたら、削除処理は完了です。

削除後、以下のようなメッセージを表示します。



MOT/Phoneで通話中に着信があった際のバイブ動作を無効にする

MOT/Phoneで通話中に着信があった際、バイブの動作を無効にしたい場合に、本機能で切り替えることができます。



＞ 電話設定 ＞ 9.その他の設定 ＞ デバッグ用設定 ＞ 携帯割込動作の切替

①



①「携帯割込動作の切替」

「携帯割込動作の切替」にチェックをいれて有効にすると、MOT/Phoneで通話中に着信があった際のバイブ動作を無効にします。

また、割込み音が大きすぎる際、本メニューにチェックをつけることで、音量を調整できる場合がございます。

バイブ動作を無効にしたい、または割込音を調整したい場合は、本メニューにチェックをつけて改善されないかお試しください。

注意事項

端末によっては、本メニューが動作しない場合がございます。

その他の設定

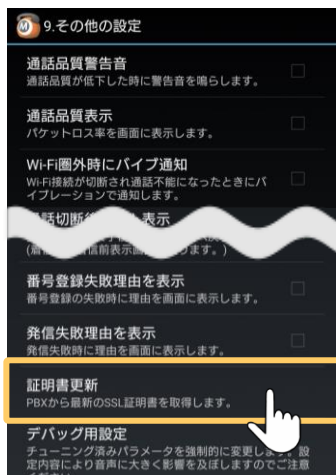
PBXのSSLサーバ証明書を取得する

TLSで通話を行う場合や、HTTPSでPBXとの通信を行う場合に必要となる、SSL/TLSサーバ証明書の更新を行います。

設定 > 電話設定 > 9.その他の設定 > 証明書更新

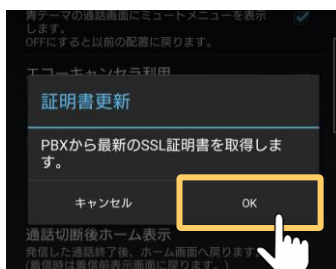
①「証明書更新」

「証明書更新」をタップすると確認ダイアログを表示します。



②

②[OK]をタップすると、番号登録が成功している全てのPBXに接続し、最新のSSLサーバ証明書を取得します。



※各アカウント設定の[プロトコル(HTTP)]を「HTTP」に設定して実行してください。「HTTPS」だと取得に失敗する場合があります。

MOT/Phoneアプリのバージョン確認、アンインストールを行う

MOT/Phoneのバージョン確認やアンインストールを行うことができます。

設定 > バージョン情報



①「ソフトウェアバージョン」

ソフトウェアのバージョン情報の確認が行えます。



②アプリケーション情報表示

「アプリケーション情報表示」をタップすると、アプリ情報画面を表示します。
アプリ情報画面では、以下の処理が可能です。

①アンインストール

MOT/Phoneを端末から消去する場合に利用します。

アンインストールした場合、これまで設定した内容が消去されると共に、内線電話機能等、MOT/PBX、MOT/TELで提供していた機能がご利用出来なくなります。

②強制停止

MOT/Phoneが異常時に利用します。

③ストレージとキャッシュ>

ストレージを消去・キャッシュを削除
設定されているデータを削除する場合に利用します。

※端末やOSによって項目名が異なります。
ストレージ>データを消去・キャッシュを消去、など



プライバシーポリシーを確認する

MOT/Phoneからバルテックホームページにある個人情報保護方針(プライバシーポリシー)の確認を行うことができます。



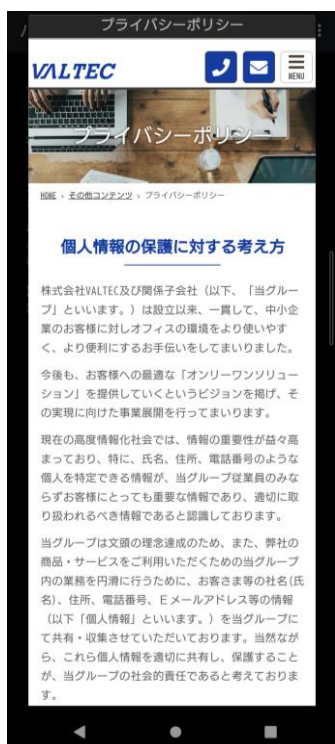
> バージョン情報

①



①「プライバシーポリシー」

個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を表示します。



ホーム画面に「スマートロック」メニューを表示する

スマートロック(ドアコンシェル)をご利用になる場合、MOT/Cloudサービスのお申し込みが必要です。

※事前に、MOT/Cloudのアカウント設定を行ってください。

⚙️ 設定 > 表示設定 > 「スマートロック」にチェック

①



①表示設定の「スマートロック」にチェックをつけます。

ホーム画面に表示された「スマートロック」をタップすると、スマートロック画面を表示します。



スマートロック機能を設定する

電子鍵との通信はBluetoothを介して行います。

設定 > 「スマートロック」

①



①「スマートロック」メニューを選択すると、スマートロック画面を表示します。

Bluetoothが有効になっていない場合、以下のダイアログが表示されます。「許可」を選択するとBluetoothが有効となります。

「MOT/Phone」がBluetoothをONにしようとしています

許可しない 許可

②



②解錠権限のある鍵のみが、一覧表示されます。

※権限を付与する方法は別紙MOT/Cloudのマニュアルをご覧ください。また、Bluetooth通信により検知できた鍵のみ、解錠処理を行うことができます。検知できなかった鍵は背景が暗く表示されます。

①鍵名: 鍵の名称を表示します。

②有効期間(開始日時): この日時以降から鍵が使用可能です。

③有効期間(終了日時): この日時まで鍵を使用できます。(期限がない場合は「期限なし」と表示)

③



③鍵の解錠権限を変更した時や、Bluetooth通信で鍵の検知に失敗した時などは、リロードボタンをタップして再度読み込みを行います。

スマートロック解錠

解錠を行う

選択した電子鍵のロックを解除します。

スマートロック解錠を行う

①



①「スマートロック」メニューを選択すると、スマートロック画面を表示します。

②



②鍵一覧から解錠する鍵を選択すると、Bluetooth通信により解錠処理を行います。

解錠処理の結果を画面に表示します。

解錠に失敗した場合は、表示されたメッセージと、「[解除エラーコード](#)」ページをご参照のうえ、エラーの内容をご確認ください。

【解錠実行中】



【解錠成功】



【解錠失敗】



注意事項

弊社から販売されるスマートロック(ドアコンシェル)のみで、本機能を利用できます。

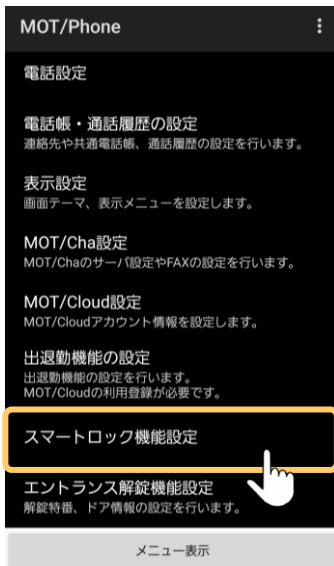
鍵の検知時間を設定する

スマートロック機能設定よりBluetooth通信による鍵の検知時間の設定ができます。



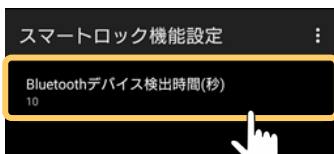
> スマートロック機能設定

①



①「スマートロック機能設定」を選択します。

②



②「Bluetoothデバイス検出時間」にBluetooth通信による鍵の検知時間(秒)を入力します。

初期設定は10秒です。

解錠エラーコード

解錠失敗の際、メッセージ欄に「解錠できませんでした。(E-)」と表示された際は、以下のコードを参照してください。

エラーコード	状況
E1	プレフィックスの形式が正しくありません。
E2	シリアル番号の形式が正しくありません。
E3	コールバックがありませんでした。
E4	電子錠が要求する通信方式をサポートしていません。
E5	電子錠からの応答が指定した時間内に返ってきませんでした。
E6	ライブラリの内部で不明なエラーが発生しました。
E7	接続に失敗しました。
E8	Service検索中にシステムエラーが発生しました。
E9	Characteristic検索中にシステムエラーが発生しました。
E10	解錠結果通知受信設定中にシステムエラーが発生しました。
E11	指定されたシリアル番号が正しくありません。
E12	指定されたパスワードが正しくありません。
E13	指定された端末識別子が正しくありません。

エントランス解錠

ホーム画面に「エントランス解錠機能」メニューを表示する

エントランス解錠機能を利用するには、この機能に対応したMOT/PBX、電気錠が必要です。

設定 > 表示設定 > 「エントランス解錠」にチェック

①



①「エントランス解錠」にチェックをつけます。

エントランス解錠機能を利用するには、
MOT/PBX v5.13.1以降のファームウェアに
バージョンアップしてください。

ホーム画面に表示された「エントランス解錠」をタップすると、解錠画面を表示します。



エントランス解錠

エントランス解錠機能を設定する

エントランス解錠機能設定より設定ができます。



> エントランス解錠機能設定

①



①「エントランス解錠機能設定」を選択します。

②



② エントランス解錠機能設定の画面で、以下の設定を行います。

① 解錠特番

「解錠特番」に管理者より通知されるエントランス共通の解錠に使用される番号を入力します。

② 使用アカウント

解錠発信に使用するアカウントを選択します。

③ 名称、内線番号の入力

「名称」にエントランスの名称を入力し、「内線番号」に、管理者より通知されるエントランス固有の識別番号を入力します。

※エントランスは5つまで登録ができます。

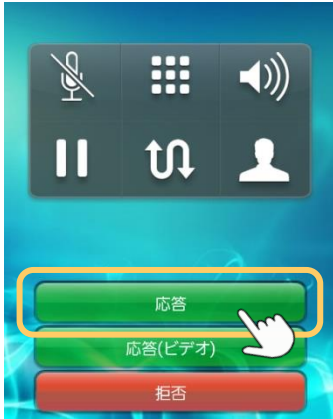
エントランス解錠

解錠を行う

来訪者に対してエントランスを解錠する場合の解錠方法を説明します。

エントランス解錠を行う

①



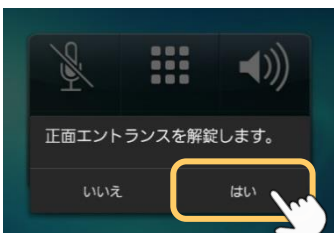
①「応答」をタップし、エントランス端末からの着信に応答します。

②



②来訪者と通話をし、解錠する場合は画面の「解錠」をタップします。

③



③確認メッセージが表示されるので、「はい」をタップします。

▶次ページへ続く

エントランス解錠

解錠を行う

④



④解錠発信に使用するアカウントを選択します。

「使用アカウント」を「都度選択」に設定している場合、アカウント選択ダイアログが表示されます。番号登録が成功しているアカウントは後ろに内線番号が表示されます。

「プライマリ」「セカンダリ」に設定している場合は、設定したアカウントで発信を行います。

解錠後、以下のようなメッセージを表示します。



居住者が帰宅時に、エントランス解錠を行う

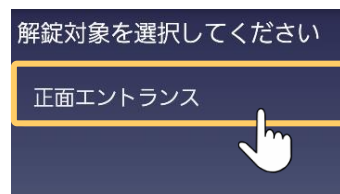
居住者が帰宅時にエントランスを解錠する場合の解錠方法を説明します。

①



①「エントランス解錠」メニューを選択すると、エントランス一覧画面を表示します。

②



②解錠したいエントランスを選択し、タップします。

※エントランス一覧に項目が表示されていない場合は、設定 > [エントランス解錠機能設定する](#)をご確認ください。

▶次ページへ続く

エントランス解錠

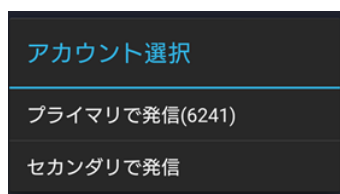
解錠を行う

③



③解錠確認メッセージが表示されるので、「はい」をタップします。

④



④解錠発信に使用するアカウントを選択します。
「使用アカウント」を「都度選択」に設定している場合、アカウント選択ダイアログが表示されます。
番号登録が成功しているアカウントは後ろに内線番号が表示されます。
「プライマリ」「セカンダリ」に設定している場合は、設定したアカウントで発信を行います。

⑤



⑤選択したエントランスの解錠を実行します。

仕様

項目(機能)	内容	備考
名称	MOT/Phone Android版	
動作環境	Android OS9.0～14	動作保証端末に限る
呼制御方式	SIP(RFC3261) TCP、UDP、またはTLS	
音声コーデック	OPUS(推奨)、SILK、PCMU(G711 μ -Law)	
対応言語	日本語、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)	※本体のロケール設定に依存
DTMF送出	RFC2833	
接続先	MOT/PBX シリーズ、MOT/PRO、MOT/TELサーバ	その他のPBX接続は保証外
保留/転送	通話相手を保留後、取り次ぎ転送が可能	SIP独自方式(SIP REFER/NOTIFY)
パーク保留	1～6のパーク保留ボタンを利用可能	SIP独自方式(SIP SUBSCRIBE/NOTIFY)
同時通話数	同時通話数1 IP通話1通話/PSTN通話1通話(片側保留)	PSTN通話中はIP側着信拒否 IP通話中は応答/拒否切替
音声制御機能	エコーキャンセラ(近端エコー)	設定によって変更可能
着信鳴動音	端末依存のメロディーを選択可能	IP着信で専用設定可能
着信音量変更	スライドバーによる設定変更、本体音量調整に対応	スピーカ
通話中音量変更	側面の音量ボタンで調整。本体のサウンド設定に従う。	
スピーカ	通話中にスピーカ出力に切替可能。	
マイクミュート	通話中にミュート切替可能。	
電話帳	端末標準電話帳および共通電話帳を参照	タップによる発信可能
通話履歴	MOT/Phoneによる通話履歴を独自に保存	タップによる発信可能
外線発信	IP発信/PSTN発信に対応 (MOT/PBX接続による切替通話)	
内線発信	設定した内線番号で通話可能	MOT/PBX側で制御する内線
無線	WiFi /モバイルデータ通信 (WiFi有効時はWiFi接続優先)	※端末によって利用出来ない場合がございます。
Bluetoothヘッドセット	オーディオプロファイル対応 ※Bluetooth端末の応答/切断ボタンは設定によって、利用出来る場合と出来ない場合がございます。(OS11以前)	※利用するBluetoothによって動作しない場合もございますためご注意ください。
アップデート	1. 専用サイトに接続して手動バージョンアップ 2. 最新版自動チェック、アップデート機能	
着信名称表示	以下の順番で優先表示 1. MOT/PBX側顧客POPUP情報表示 2. 携帯端末内の電話帳登録情報	
設定変更	MOT/Phoneアプリ内にて設定。	一部設定は本体設定でも変更可能。

注意事項

■MOT/Phone Android版について

- ◆MOT/Phoneは、バルテックが提供するAndroid上で動作するソフトフォンです。
- ◆当社製IP-PBX装置(MOT/PBX)およびMOT/TELサービスによって構築される内線電話網内にて、通話・保留・保留転送・パーク保留機能を提供し、内線電話機として動作する事が可能です。
- ◆WiFi環境化においても無線電話機として、モバイルデータ通信環境ではリモート内線電話機としてご利用が可能です。(全てのスマートフォンで同じ音質、動作であることを保証するものではありませんのでご注意ください。)

■ご利用においてのご注意事項

- ◆当社として、MOT/PBXシリーズまたはMOT/TELサービスとの接続以外で生じた問題は補償の対象外、かつサポートいたしませんのでご注意ください。
- ◆本ソフトは弊社が接続確認を実施した端末以外にインストールした場合の動作は保障いたしませんのでご注意ください。
- ◆Skypeなどの他社アプリとMOT/Phoneアプリの併用利用時の動作は動作保証対象外となります。
- ◆弊社が提供しているのは本ソフトのみのため、インストール先の装置本体の動作、仕様、装置本体に起因する問題へのサポートは、対応出来ない場合がございますのでご注意ください。
- ◆本ソフトはWiFi通信とは別に、携帯キャリアが提供するモバイルデータ通信を利用したVoIPを利用することができます。モバイルデータ通信を利用した通信は携帯キャリアによって別途パケット通信料金がかかりますのでご注意ください。
- ◆モバイルデータ通信を利用した通信に起因するトラブルは、弊社としてサポート致しかねますので予めご了承ください。
- ◆モバイルデータ通信は各通信キャリアが管理しているものとなりますため、通信速度の保障等が無い限り、遅延/通信障害等、当社ソフトでは制御出来ない問題が生じる場合がございます。この場合、当社として通話品質等の保証が出来ない場合がございますので予めご了承ください。
- ◆弊社が指定しているマニュアルに記載されているご利用方法以外の使用方法によって生じた問題は品質保証対象外になります。
- ◆弊社が提供した経路以外で本ソフトウェアを入手したと判断した場合、本ソフトウェアに関するお問い合わせにはお答えすることが出来ない場合がございます。

■本書について

本書には本装置を正しくご利用いただくための、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されているため、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。
本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
 - ◆本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
 - ◆本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ◆取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ◆接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ◆本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です
- ◆基本機能は、別紙「MOT/PHONE_Android版ユーザマニュアル」をご参照ください。

技術向けユーザマニュアル

株式会社バルテック

VALTEC®